

# 公社債

証券講座プロジェクト



現代 GP 証券講座 プロジェクト

平成 18 年度 経済学部 現代 GP 連携事業

## 公社債の仕組み



- 債券(直接金融)

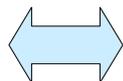
企業、国



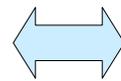
投資家

- 定期預金(間接金融)

企業、国

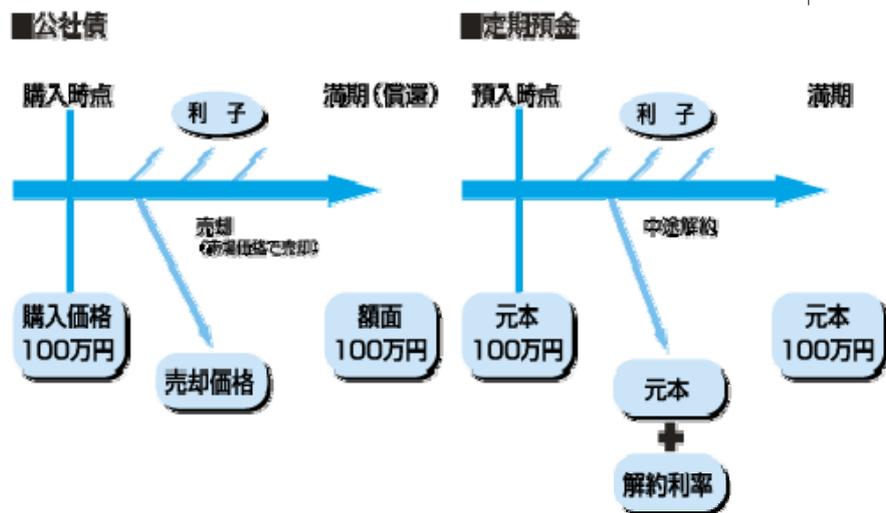


銀行



投資家

# 公社債の仕組み



# 利子率と利回り



利率	元本に対する毎年受け取る利子の割合
利回り	投資金額に対する利子も含めた年間の総収益の割合

➡ 例えば、年利率5%の債券を発行時に100万円で購入し、103万円で売却したときの利回り

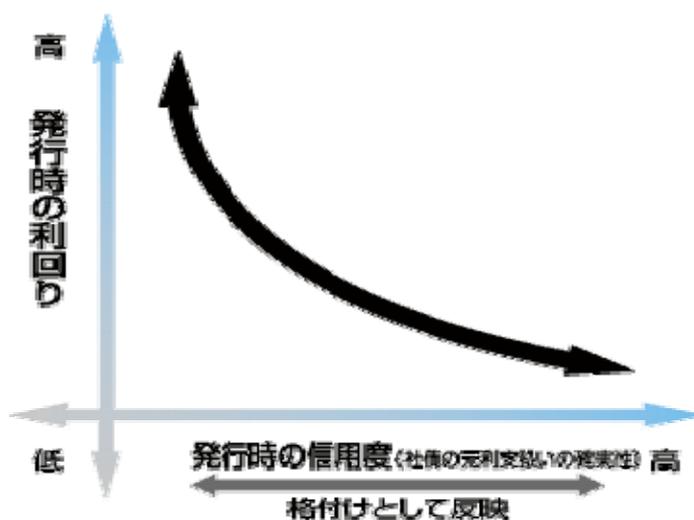
18万円(3年間の収益) ÷ 3 = 6万円(年間収益)  
 6万円 ÷ 100万円 × 100 = 6%(利回り)

# 公社債のリスク



リスクの種類	発生時	内容
信用リスク	購入時	債券の安全性(信用度)に依存しているリスク→格付け
価格変動リスク	保有時	市場価格の変化によって売却益がでたり、売却損がでたりするリスク
為替変動リスク	売却時	為替相場の変動によって、円に換算した受取り額が変化するリスク
流動性リスク	売却時	買い手が現れず、希望するタイミングに売却ができないリスク

# 公社債のリスク



# 格付け



	AAA	信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。	
	AA	信用力は極めて高く、優れた要素がある。	
	A	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。	
	BBB	信用力は十分であるが、将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある。	
	BB	信用力は当面問題ないが、将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。	
	B	信用力に問題があり、抱えず注意すべき要素がある。	
	CCC	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が強い。債務不履行に陥った債権は回収が十分には見込めない可能性がある。	
	CC	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が極めて強い。債務不履行に陥った債権は回収がある程度しか見込めない。	
	C	債務不履行に陥っており、債権の回収もほとんど見込めない。	

# 格付けによる利率の違い



● 10年債

6/30日現在

企業	格付けランク	利率
国債	AA-	1.9%
大阪府(公債)	AA-	1.6%
NTTドコモ	AA+	1.43%
東電	AA+	1.54%
三菱商事	AA-	2.12%
NEC	A-	2.43%

格付け投資情報センター(R&I)による格付け

## リスク軽減方法



1. 格付けや目論見書を利用する
2. 購入した証券会社に買い取ってもらえるか確認する
3. 償還までの期間に渡って使用する予定のない資金で投資する
4. 金利変動や債券価格の変動を常にチェック

## リターン



種類		計算方法
インカムゲイン	クーポン (利息収入)	額面価格 × 利子率
キャピタルゲイン	売却益	売却価格 - 取得価格
	償還差益	償還価格 - 取得価格

## 公社債の選び方



方法	利率や利回りで選ぶ方法	利息のもらい方で選ぶ方法
内容	大きなリターンを狙うときに効果的	定期的に利息を受け取りたい時 →固定の利付債
	財務内容や格付けなどをチェックして、発行体の信用度を確認	途中の利息がいらぬ →割引債

## 公社債の売買方法



### ● 債券の購入

証券会社や銀行などで購入

債券の種類によって、取扱いの金融機関が違ふ

新発債	債券の購入代金を支払う
既発債	既発債は債券の購入代金、売買手数料、経過利息を支払う

### ● 債券の売却

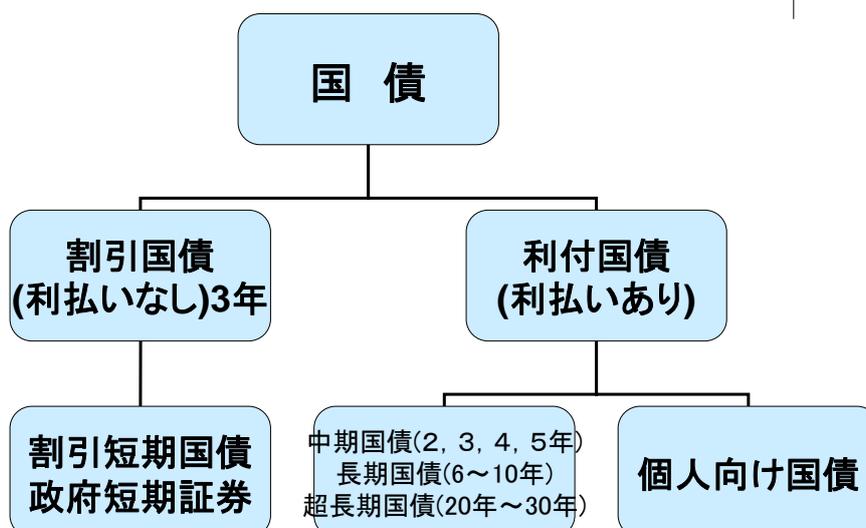
債券の売却代金 +経過利息 -手数料 =売却金額

# 税金



種類 \ 対象	利息収入	償還差益	売買益	手数料
利付債	20%の源泉分離課税	雑所得扱い	非課税	消費税
割引債	なし	18%の源泉分離課税	なし	消費税
転換社債 ワラント債	20%の源泉分離課税	雑所得扱い	申告分離課税	消費税

# 国債の種類



## 国債



メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>●最も信用度が高い</li><li>●流通量が多いため、換金性にも優れている</li><li>●銀行よりも有利な利率</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●株、他の債券に比べ利率が低い</li><li>●1年経たないと額面での解約ができない</li></ul>

## 地方債



- 額面金額1万円、償還期間5年、10年、利払い年2回

市場公募債	不特定多数の一般投資家に広く購入を募る方法により発行される地方債
銀行等引受債	地方公共団体の指定金融機関等から借入れ又は引受けの方法により発行される地方債

## 市場公募債の種類



全国型市場 公募債 (個別債)	各地方公共団体が個別で、全国から購入を募る方法によって発行される債券
共同発行市場 公募債 (共同債)	27の地方公共団体が共同して発行する債券
住民参加型市場 公募債	地域住民や地域勤務者、地元企業に限定して特定事業の財源確保をするために発行される債券 1万円でも購入可能

## 特別債



- 特別の法律によって設立された政府関係機関である公団や公庫等が発行する債券

保証債	元金の償還と利子の支払いについて、政府が保証している債券
非政府保証債	政府保証のないは発行者と特殊な関係にもとづいて関係者に引き受けてもらう債券

## 普通社債



- 一般的な普通の社債SB(Straight Bond)

預入金額	額面10万円、50万円、100万円など(各社債による)
預入期間	1-20年(各社債による)
税金	20%源泉分離課税他、マル優可
金利種類	クーポン(固定金利) - 発行時の表面金利が支払われる - 同期間の定期預金より金利は高い - 信用力が低い場合、金利は高くなる
利払い	年に1回か2回(各社債による)

## 転換社債

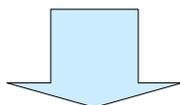


- 一定の条件でその転換社債を発行した会社の株式に転換できる社債
- 債券と株式の二面性
- 額面は10万、50万、100万など、償還期間は2年～15年

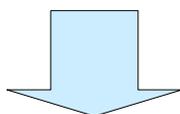
## 転換する場合



株式に転換



市場株価(時価)の株を転換価格で購入

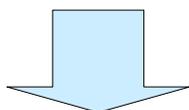


安く株式を取得できる可能性

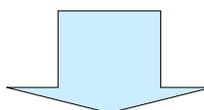
## 転換しない場合



債券として保有



債券利息を受け取る&額面価格の償還



利回り確定

## 転換社債のパリティ



- 現在の株価と比較して転換社債がこれだけの「価値」を持っているという理論上の価格
- $\text{パリティ} = \text{株価} \div \text{転換価格} \times 100$
- $\text{パリティ} < \text{転換社債の時価}$  → 割高
- $\text{パリティ} > \text{転換社債の時価}$  → 割安

## 新株引受権付社債 (ワラント債)



	種類	
ワラント債	非分離型	社債部分とワラント部分を分離して販売できない
	分離型	社債部分とワラント部分を別々に流通させることのできる

- 転換社債との違い  
→ 追加投資して新株を購入する点

## 金融債



	利付金融債	割引金融債
購入価格	1万円から可能	1万円から可能
償還期間	一般的に5年	1年
預金保険法	対象外(ワイドは対象)	対象外(適用になる商品を用意している金融機関もある)

## 外債



- ①発行者、②発行場所、③通貨のいずれかが外国のものである債券
- 外貨建外債(払込み、利払い、償還が外貨建て)  
→為替リスクを伴う
- 円貨建外債(払込み、利払い、償還が円貨で行われる)  
→為替リスクを伴わない

## 参考にしたURL



- マネー情報知るぽると  
<http://www.shiruporuto.jp/index.html>
- 財団法人地方債協会  
<http://www.chihousai.or.jp/>
- ウィキペディアフリー百科事典  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>
- 格付け投資情報センター(R&I)  
<http://www.r-i.co.jp/jpn/index.html>